

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイنزヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <http://www.cornerstone.or.jp>



2人はいつも仲良し(カンボジア孤児院)

皆様のご支援ご協力、いつもありがとうございます。

日本では、コロナウイルスの流行が止まる事を知らず、日本国内において経済的にも大きなダメージとなっております。もちろんこれは日本だけではなく、ほぼ世界的な形で流行の波を広げています。一刻も早い収束、解決を望むばかりであります。

この中でザンビアにおいては、かなり深刻な水不足により、電力の供給を水量発電に頼るザンビアとしては大変な問題となっております。世界有数の水量を誇るビクトリアの滝も、ほとんど水がない様な状況と聞いており、その深刻な度合いは、ここ数世紀の間でもなかった程ではとされています。

今現在、世界では様々な問題が生じている様です。

このような厳しい状況の中、各孤児院は奮闘しております。

各孤児院が必要としているものは数多くありますが、特に必要な物は今、少しでも早く皆様知って頂こうとホームページに掲載させて頂いております。一つでも多く、少しでも早く、必要な物が与えられ子供達に十分なケア出来るよう願うばかりであります。

その為には只々皆様のご支援、ご協力をお願いするばかりであります。

是非これからも皆様のお力添え、何卒よろしくお願い致します。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。高校卒業後、日本語を学んでいた女の子の1人が、日本語学校で学びながらスタッフとして働くこととなり、孤児院から自立することになりました。これまで、皆様からの多くのご支援を頂きましたことを、心から感謝致します。小中高に通っている子ども達は、学校によっては2月、3月に分かれています。それぞれの学校で前期試験を迎えています。前期試験と後期試験は進級に関わる大切な試験となっています。特に試験期間体調が守られて、試験に集中できるように、また良い結果を1人1人が受取ることが出来るようにと願っています。今年、高校受験を1人、高校を卒業するための試験を2人が迎えます。皆様にも彼らの良い結果をご報告出来るようにと願っているところです。カンボジアでは、政府からの認可のための手続きを3年毎に更新しておりますが、今年が手続きの年となっております。これからも継続した孤児たちの受入れの為に、また子ども達をケアするスタッフの増員の為に、さらに皆様のご支援を頂ければ幸いです。どうぞ、よろしくお願い致します。



初めてのパスデーケーキの前に喜ぶYN(写真中央)と同室のお兄ちゃん達と

フィリピン孤児院レポート

エディー・エミア

フィリピン子どもたちに対する皆様の尊いご支援を心から感謝致します。2月は学校でバレンタインデーの行事があります。子どもたちは、大切な人たち(家族や先生)へのプレゼントを準備をします。バレンタインデーは家族で祝う行事でもあるのです。また、創立記念日には「キング&クイーンコンテスト」が行われます。子どもたちの中からキングとクイーンが選ばれますが、皆に親切であるとか優しい、協力的など心の面が重視されます。この行事はPTA主催で、学校設備拡張のための募金活動の一環として行われます。2019年～2020年の今学年も残りわずかとなって来ました。皆様のご支援を心から感謝致します。来年度もフィリピン子どもたちのために、引き続き皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



スアワン高校の授業風景

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?ザンビアの私たちの地区は相変わらずの停電です。しかも政府が相当の予算で南アから電気を輸入したため、電気料金が13%も値上がりしてしまいました。その為、北部では、儀式殺人(魔術に使う人体を求めて行われる殺人)に端を発した暴動、催涙弾、毒ガス散布、強盗殺人などが起こり、そこで働きをしていた海外青年協力隊員は、首都ルサカに退避せざるを得ないというかつてなかったほどの状況となってきております。経済が低迷し、国全体が食料不足と失業に脅かされている現在、国民のフラストレーションが高まり、それが外国人に向けられるリスクも高まっています。そんな中、始めた孤児のための学校。無料の授業と給食で20名が元気に通っています。先日、ある孤児は、大雨でド口煉瓦の家が破壊されたために住む家を失ってしまい、建設中のドアもない家に、12人家族で仮住まいすることになりました。学校には通っていますが、ショック状態にしているのが見取れています。やはり孤児の救済には、学校だけでなく、シェルターも必要であることを痛感しています。いつも皆様のご支援をありがとうございます。さらにご支援のほど、よろしくお願い致します。



大雨で住む家を失ってしまった孤児、ナターシャ(11才)とその家

ブラジル孤児院レポート

松本弘子

1月30日から3月11日まで一時帰国させていただきます。成田に向かう飛行機の中で、「Breaking Habits」というドキュメンタリー映画を見ました。米国カリフォルニアでの大麻からの抽出物質でCBDを製造するシスターたちのお話でした。CBDは大麻の葉から酩酊状態になるTHCという物質を除いたもので、精神病や不眠などに効果がある大きなビジネスとなっているということでした。12月初めにブラジルでの私の住まいの隣に、大麻を吸っていると思われる人々が引っ越して来て、騒音のため困り、集合住宅の他の住民たちとどういった対応をしたらよいかと相談していましたが、この映画を見て、ブラジルの法的状況を調べてみました。12月10日に、ANVISAという政府の医薬品管理機関がCBDの医薬品としての企業製造を禁止する決定を出しましたが、裁判官が許可の判決を下したため、ブラジルでは実質的に個人的に大麻を所持していても捕まらない状況になっているとのことでした。ベトナムではキャンディのような色や形をした麻薬が出回って問題になっているという記事も目にしました。子供たちが薬物等から守られるため、必要な情報を得て注意深く対応して行かなくてはと思われています。



一時帰国中にて